

(2) 「東京都と大学との共同事業」について

定例懇談会での意見交換に加え、大学の持つ「知」のリソースを結集し、
SDGsの推進と東京の持続的発展を目的として、都と大学との共同事業を展開

○ 令和3年度 募集テーマ **“サステナブル・リカバリー”**

- ・ 新型コロナとの闘いにより疲弊した経済、社会、人々のマインドを回復させながら、未来に向けて「より良い復興」を目指す必要
- ・ コロナ禍の「新しいつながり」や「新しい暮らし」を追求するとともに、50年、100年先も、便利で豊かさが溢れる持続可能な都市を構築すべく、**サステナブル・リカバリーの視点による研究等を募集**
⇒ **成果を都民に還元**

○ 令和3年度 応募事業総数 **28事業**

都職員と有識者で構成する審査委員会において **3事業を決定**

○ 周知

本日の「第7回大学との定例懇談会」で報告（同日、プレスへ情報提供）

① 令和3年度 決定事業の紹介

① 地域参加による換気の可視化 向上プロジェクト

(電気通信大学・東京大学)

- CO2モニターで測定した**CO2濃度**をネットを介し、
見える化・情報共有する IoTゲートウェイ装置「CO2ハブ」を開発
- 飲食店、劇場、病院、学校・学習塾など、様々な業種の店舗で測定した
CO2濃度を地図アプリでリアルタイムに可視化
- SNSで換気に関するノウハウの発信などにより、改善につなげる

TOKYO 換気良好マップ

・CO2濃度を可視化



換気向上 SNS

- ・知識ノウハウの発信
- ・専門家によるアドバイス



② 「デジタル上野の杜」プロジェクト

(東京藝術大学・東京大学)

- 上野公園などを3Dスキャンし、スマホ等で体験可能な**新しい学びや交流の場**として「デジタル上野の杜」を構築
- オンラインでも楽しめるバーチャル交流拠点として、都民のみならず世界へ発信
- **計測データをオープンデータとして公開**し、上野公園のスマートシティ領域への実装に向けた基盤とする



デジタル藝大β

東京藝大のキャンパスをデジタル空間としてアップロード、ネットから自由にアクセス可能に



上野公園桜並木3Dスキャン
昨年
の新型コロナウイルス流行に伴う
通行禁止前に桜並木をスキャン



旧都城市民会館
3D Digital Archive
第23回文化庁メディア芸術祭
エンターテインメント部門
審査委員会推薦作品

③外国人材との協働コミュニティを創出するための パターン・ランゲージの開発研究と普及推進

(東京都立大学・早稲田大学) ※懇談会外から社会情報大学院大学も参加

- 外国人材との協働に成功する企業を調査し、経験則（勘、コツ、ノウハウ）を収集（調査対象は飲食、サービス、宿泊、物流、行政、教育など特徴ある企業）
- 調査結果を分析し、相関関係を整理し、分かりやすく事例を伝える「パターン・ランゲージ・カード」を作成し、デジタル化によりスマホ等での活用も推進
- 職場共生に苦戦する中小企業等を対象に、ワークショップによるノウハウを共有



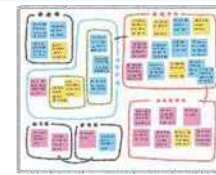
文献調査



先駆的企業の
調査



インタビューの
分析



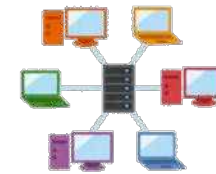
パターンランゲージ
骨格づくり



パターンランゲージ
執筆作画



ワークショップ
開催



パターン
ランゲージ公開



サステナブル・
リカバリー

② 令和2年度 実施事業の報告

令和
2年度

① 災害時における大学キャンパスを活用した避難手法の検証

(法政大学・東洋大学・東京工業大学)

- 地震などの災害発生時に、**大学キャンパスでの屋外キャンプ**が、
体育館等での集団避難とは異なる、**家族単位での避難**をする場所として、
新たな地域の避難拠点となり得るか、**実証実験**等を通じて検証

- ・都内大学キャンパスの避難所としての資源性の調査、大学キャンパスでの**実証実験**
(屋外キャンプ)
- ・大学キャンパスは様々な点で人間らしい避難生活に適しており、
本件をモデルとした「**新しい避難生活拠点**」を提案し、展開につなぐ

	大学キャンパス	大規模公園	体育館等公共施設
家族ごとの避難生活	○	○	△
避難家族の統制と安全管理	○	△	○
荒天時の屋内避難	○	△	—
厨房・食堂等調理設備	○	△	△
屋外レクリエーション	○	○	△
図書館等文化活動支援施設	○	△	△
医務室等緊急医療対応	○	△	△



※大学キャンパスでの
実証実験
(野外キャンプ)の様子

②医療従事者への「やさしい日本語」の普及

(順天堂大学・帝京大学) ※懇談会メンバー外から聖心女子大学が参加

- 動画教材の開発やシンポジウム等を通じた医療従事者への「やさしい日本語」の普及を図ることで、外国人住民をはじめ、高齢者や障害のある方々など、誰にとってもやさしい医療環境を提供

- ・ 「やさしい日本語」の基礎知識や、医療現場の事例別動画教材を制作しYouTubeで無料公開
その他、オンラインワークショップやシンポジウムを開催
- ・ 参加者が成果を職場に持ち帰り、自主的に研修を企画運営
本事業を通じた行動変容や医療現場における新たな伝達学習の取組の広まり、患者である都民へ還元

順天堂大学YouTubeチャンネル「医療で用いるやさしい日本語」

https://www.youtube.com/playlist?list=PLFwRLsRI_gpDgJMNRfIbkZJ13xU-DeWA8



③大学と地域が連携した「食」を通じたコミュニティ活性化

(専修大学・中央大学)

- 「食」をハブにしたオンライン・コミュニティ・プラットフォームを構築し、交流会やシンポジウムとも組み合わせ、学生や地域住民、近隣の商店街店舗などの**コミュニティ活性化と食品ロス削減を推進**

- ・ **食品ロス削減への社会的関心を喚起**するため、余剰野菜活用カレー販売プロジェクトを実施
- ・ **学生団体や近隣の商店街店舗、食品関連企業等をつなぐプラットフォーム(HP)を開設**



余剰野菜活用
カレー販売
プロジェクト

相互交流から、新たなプロジェクトが検討され、
地域の枠を超えて、全国の多様な主体に
持続可能なプラットフォームとして活用されることを
促していく



オンライン・コミュニティ・
プラットフォーム「ハニコミ」